

サポート研修講師等養成「人権・同和問題Ⅰ」

【日時】	第2回 令和3年6月2日(水)・8日(火) 9:00~17:00
【会場】	特別区職員研修所
【受講者数】	27名
【講師】	特別区職員研修所 職員 弁護士 師岡 康子 氏 (公財)東京都人権啓発センター 和田 正幸 氏 東京都総務局人権部 人権施策推進課長 同和啓発担当課長 東日本部落解放研究所 事務局長 鳥山 洋 氏
【研修内容】	<目的> 人権・同和問題の基本的知識や現状を学び、講師として同和問題をはじめとするさまざまな人権課題に対する正しい理解と知識を深める。 <内容> ① 「人権・同和問題研修」について ② 基本的人権とネット社会 ③ さまざまな人権問題 ④ 東京の人権問題及び行政の取組 ⑤ 被差別部落の歴史と解放への歩み
【受講生の声】	・認識していた人権より、多種多様な課題が存在することを理解できたため、大変有意義でした。以前から存在する問題や新たな問題、時代の移り変わりにより、人権の問題も形を変えていくものであると感じました。これを念頭に鋭敏な感覚を持ち続けたいと思います。 ・我々の生活は様々なバイアスにさらされ、私自身もそのバイアスに知らずに取り込まれがちです。そのことに自覚をもって向き合い、折に触れて学ぶことは、基礎的自治体職員として取り組むあらゆる業務で欠かすことのできない知識を身につけ、業務上の判断材料になると考えます。自分自身をブラッシュアップするとても良い機会をいただいたことに感謝申し上げます。 ・現在の所属の業務では、「人権」について触れることはありませんが、今後仕事をしていくうえで、また、区の施策を中心となって担っていくうえでは、人権や同和という課題は非常に重要なテーマであると思いました。しっかり意識してアンテナを持っていたいと思います。